

(第 11 回)

United GIPs セミナーのご案内



米国出願クレームエディットのスズメ

～直訳クレームからの脱却を目指して～

拝啓

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊グループ事務所の米国事務所 (GLOBAL IP Counselors, LLP.) に赴任しております日本人弁理士と、同事務所に所属する米国特許弁護士を講師とした所内・セミナーを開催致します。

このセミナーはもともと所内メンバー向けのセミナーとして実施しているもので今回が11回目の開催になります。折角の機会ですので、特定のお取引先様にご参加いただけるように致しました。

日本と米国の特許実務の違いを確認する上で有意義なセミナーとなるよう企画しておりますので、ご多用とは存じますが、お繰り合わせの上、出席下さいますようご案内申し上げます。

敬具

2012年9月 吉日

新樹グローバル・アイピー特許業務法人
事務長：東川達三

1. セミナー概要

テーマ：『米国出願クレームエディットのスズメ』
～直訳クレームからの脱却を目指して～

特許のクレームをどのように記載すべきか。どこの国で特許を取得する場合においても、これは最も重要な課題です。一般に各国には独自の実務慣習が存在するため、慣習に沿ったクレームを国毎に作成することが実務的には好まれます。

しかしながら、現実的には日本の実務慣習に沿ったクレームを直訳して外国出願を行うケースが多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、日本クレームを直訳した米国クレームの典型例を題材として取り上げ、米国特許弁護士の視点で問題点を指摘するとともに、その改善策を提案します。

なお、説明は基本的に日本語で行い、日本の感覚で作成された英語クレームに対する印象を米国特許弁護士がコメントする形式でセミナーを進めます。(高橋 明雄)

2. セミナーの内容

(1) 事例説明

題材として取り上げる電気分野の簡単な発明の内容について説明します。

(2) エディットポイント (形式面)

米国向けクレームとして着目すべき点について、形式面から説明します。

(3) エディットポイント (実体面)

基礎出願の日本語クレーム直訳した英語クレームの実体的な問題点とその改善策を説明します。

例えば、「AとBとCとを備える装置であつて、前記Aは～～であることを特徴とする装置。」という日本語の独立クレームを直訳した英語クレーム

An apparatus comprising:

Element A;

Element B; and

Element C; wherein

the Element A ～～.

に対して、米国特許弁護士が受ける率直な印象をお伝えするとともに、米国流の好ましいクレームの書き方を説明します。

<セミナー対象者>

本セミナーは、外国出願（特に米国出願）の権利化業務に携わる特許実務担当者を対象とするものです。

2. セミナー開催情報

日 時：2012年10月15日（月） 15:00～17:00 （開場14:30）

場 所：（新樹G I P所在地）

〒530-0054 大阪市北区南森町1-4-19

サウスホレストビル6F 会議室

参加費： 無 料

講 師：

高橋 明雄・・・弁理士、U.S. Patent Agent (Unregistered)

グローバル・アイピー東京特許業務法人（東京）

[GLOBAL IP Counselors, LLP. (米国・ワシントンDC駐在中)]

ジョセフ・ブチンスキー・・・米国特許弁護士

GLOBAL IP Counselors, LLP. (米国・ワシントンDC)

3. 参加申込方法

以下の（出席者様情報）及び（本セミナーに期待されること）をご記入の上、彦野友子（yhikono@giplaw-osaka.co.jp）へお送りください。

第11回 United GIPs セミナー 『『米国出願クレームエディットのススメ』』

2012年10月15日（月） 15:00～17:30

（出席者様情報）

- ・ ご所属（会社名）：
- ・ お名前（カタカナ）：
- ・ Email アドレス：

（本セミナーへの参加目的）

- ・ 本セミナーに期待されていることを教えてください。

（受講受付後の弊社からのご連絡）

本セミナーでは、受講票の発行は行いません。また人数に制限はございません。セミナー参加受付後、お申し込み頂きました E-mail アドレスに受付確認のご連絡を差し上げます。

以上

お申し込みをお待ちいたしております。

<主催>新樹グローバル・アイピー特許業務法人（セミナー受付：彦野、中川）

〒530-0054 大阪市北区南森町1-4-19 サウスホレストビル11F

Tel. 06-6316-5533 Fax. 06-6316-5544